

平成 25 年度における「いわての水を守り育てる施策」の実施状況について（公表）

【要旨】

「いわての水を守り育てる条例」に基づき、平成 25 年度の施策の実施状況を取りまとめましたので、公表します。

平成 25 年度は 74 の取組・事業を実施し、うち予算事業は 45 事業約 110 億円でした。

なお、平成 26 年度の事業予算は 45 事業、約 130 億円となっており、関係部局間で連携を図りながら施策を推進していきます。

【平成 25 年度における水を守り育てる施策の概要】（実施状況及び関連事業等一覧表は別添のとおり）

施策 (条例第 4 条)	主要な施策 (条例第 8 条 ～11 条)	平成 25 年度の概要	主要な事業
1 水環境の 保全及び 水資源の 確保	8 条 水環境の 保全及び水資 源の確保に関 する事業	河川整備、森林整備等を実施したほか、水環境 のモニタリング等を通じた水質監視、汚水処理施 設の整備による生活雑排水対策等に取り組んだ結 果、健全な水環境が維持されました。 ○水道水源水質検査基準超過地点数：なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質保全対策費</li> <li>水質検査費</li> <li>広域河川改修事業</li> <li>農業農村整備事業</li> </ul>
2 効率的・ 持続的な 水の利用	9 条 効率的・ 持続的な水の 利用に関する 事業	水道水の安定供給や水質の安全確保を図るため 策定した「いわて水道ビジョン」等に基づき、水 道事業者への支援を行ったほか、その他の用水に おいて合理的・効率的な水の利用を促進する取組 を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹水利施設ストック マネジメント事業</li> <li>小水力発電エネルギー 利活用可能性事業</li> <li>土地改良事業調査</li> </ul>
3 水の有効 利用	10 条 水の有効 利用に関する 事業	県の公共施設整備等において水の有効利用を行 う設備の率先導入と情報発信を行うとともに、水 需給の動向調査を実施するなど、県内への普及啓 発や調査等に取り組みました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>水利用対策費</li> </ul>
4 水の価値 の再認識	11 条 水の価値 の再認識のた めの事業	県民・事業者等が実施する活動に対する顕彰と して「水と緑を守り育てる活動知事感謝状」を 4 団体に贈呈したほか、水生生物調査等を通じた親 水・水の価値の再認識の取組を推進し、参加者数 で全国 3 位を維持するなど活発な活動が展開され ました。 ○水生生物調査参加者数：4,543 名（全国 3 位）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習交流センター 管理運営費</li> <li>水と緑の活動促進事業 費</li> <li>環境保全対策費 (水生生物調査)</li> </ul>
5 県民・事 業者等へ の支援	その他の施策	事業者等が県民と環境情報を共有するリスクコ ミュニケーションの取組を進めたほか、様々な機 会を活用し情報交換や普及啓発活動に取り組みま した。 ○環境報告会開催企業等数：13 企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質環境対策費 (環境コミュニケーション 推進費)</li> <li>ふるさとの水と土保全 対策事業費</li> </ul>

# 平成 25 年度 いわたの水を守り育てる施策の実施状況について

## 1 水環境の保全及び水資源の確保に関する施策

■ 河川整備、森林整備等を実施したほか、水環境のモニタリング等を通じた水質監視、汚水処理施設の整備による生活雑排水対策等に取り組んだ結果、健全な水環境が維持されました。

### (1) 水環境の保全・水資源の確保（環境生活部、県土整備部）

#### ア 公共用水域及び地下水の水質保全

247 地点の公共用水域、173 井戸の地下水質の水質測定を実施しました。

＜主な事業＞  
水質保全対策費

#### イ 北上川清流化確保対策

旧松尾鉱山の坑廃水による北上川の水質汚濁を防止するため、新中和処理施設において処理を実施しました。

＜主な事業＞  
休廃止鉱山鉱害防止事業費

#### ウ 工場・事業場監視

公共用水域及び地下水の水質保全のため、有害物質を使用し、又は排水量が多い工場・事業場の排水の検査を行い、排水基準を超過するなど違反が認められた場合、改善を指導しました。

＜主な事業＞  
水質保全対策費

#### エ ダイオキシン類環境モニタリング

大気、公共用水域及び地下水におけるダイオキシン類の常時監視等を行い、環境基準達成率は 99.1%でした。

＜主な事業＞  
化学物質環境対策費

#### オ 水道水源の水質監視

県内 4 市 2 町の水道水源 6 地点において、クリプトスポリジウム及びジアルジアの水質検査を実施し、水道水源の水質について監視を行いました。平成 25 年度の検査において、クリプトスポリジウム等が検出された地点はありませんでした。

＜主な事業＞  
水質検査費

#### カ 汚水処理施設の整備

下水道や浄化槽などの汚水処理施設の整備を進めたことにより、水洗化人口が 72 千人分増加し、生活雑排水が適正に処理されて川などに流れるようになりました (H20 : 818 千人⇒H25 : 890 千人)。



復旧後の大船渡浄化センター

#### キ 放射性物質モニタリング

公共用水域（河川 42 地点、海域 2 地点、海水浴場 3 地点）及び地下水（22 地点）の水質測定等を実施しました。

その結果、放射性ヨウ素については、全地点において不検出でした。放射性セシウムについては、公共用水域等の水質全地点で不検出となっていますが、河川の底質及び河川敷土壌で検出されています。しかし、その濃度は昨年度に比べ低下傾向にあります。また、周辺環境の空間線量率についても、県で測定している一般環境と同程度であり、全体としては低下傾向を示しています。

また、盛岡市及び放射性物質特措法に基づく汚染状況重点調査地域である一関市、奥州市、平泉町の水道水の放射性物質濃度を測定しました。平成 25 年度の調査では、放射性ヨウ素及び放射性セシウムは全地点で不検出でした。

## (2) 河川などの生態系の維持及び多様な生物が生息できる親水空間の創造

(県土整備部、農林水産部、環境生活部)

### ア 多自然川づくりの取組

河川の維持・改修工事等において、河川が本来持つ多様な生物の生息・生育環境及び良好な水辺空間の保全と創出を図る「多自然川づくり」を実施しました。

<主な事業>  
広域河川改修事業  
総合流域防災事業

を維持・形成する取組を推進し、環境との調和に努めました。

また、中山間地域等直接支払交付金を活用し、水路・農道の管理など地域の共同取組活動を支援しました。

<主な事業>  
農業農村整備事業  
中山間地域等直接支払事業

### イ 生物多様性に配慮した農村環境の整備

農業農村整備事業の実施に当たっては、振興局等に設置している公共事業等に係る「希少野生動物調査検討委員会」において、学識経験者の助言を受け、事業計画区域内に生息する希少野生動物等の状況確認のほか、必要に応じて動物の移送や植物の移植など、希少野生動物の生息環境

### ウ 希少野生動物の保護

平成 14 年に指定した指定希少野生動物 16 種、特定希少野生動物 10 種の監視や保護対策を実施しました。

<主な事業>  
条例指定種等保護事業費

## (3) 森林及び水田が持つ水源かん養機能の維持及び増進 (農林水産部)

### ア 森林の環境保全の向上

森林の水源かん養機能を維持増進するため、伐採跡地の再造林や間伐等への支援、県有林の整備を実施しました。

### イ いわて環境の森の整備

「いわての森林づくり県民税」を活用し、水源のかん養や県土の保全等の公益的機能の維持増進のため、管理不十分な人工林の混交林誘導伐等を実施しました。

### ウ 環境保全型農業の普及

環境に配慮した持続的な農業を広く普及定着させるため、水田での農薬、化学肥料の使用量を削減する営農活動の支援を実施しました。

### エ 中山間地域等における多面的機能の維持

中山間地域等直接支払制度を活用し、地域の農業者等による耕作放棄の発生防止活動や水路、農道等の管理活動等により、水源かん養や洪水防止等の多面的機能を維持しています。

### オ 農地、農業用水等の保全

農業用水を安定的に供給するためには、農地の水源かん養機能の維持増進が必要なことから、地域協働による農地・農業用水など地域資源の保全活動を支援しました。

<主な事業>  
農地・水保全管理事業

## (4) 都市部の道路又は公園における雨水の浸透面の保全等 (県土整備部)

御所湖広域公園などにおいて植栽や緑化等を実施し、公園における雨水の浸透面の保全等を行いました。

<主な事業>  
広域公園整備事業



御所湖広域公園 町場地区

## 2 効率的で持続的な水の利用を推進する施策

- 水道水の安定供給や水質の安全確保を図るため策定した「いわて水道ビジョン」等に基づき、水道事業者への支援を行ったほか、その他の用水において合理的・効率的な水の利用を促進する取組を行いました。

### (1) 生活用水、農業用水、工業用水その他の用水の合理的又は効率的な利用

(環境生活部、農林水産部、企業局、県土整備部)

#### ア 「いわて水道ビジョン」の推進

水道水の安定供給や水質の安全確保を図るため策定した「いわて水道ビジョン」及び国が策定した「新水道ビジョン」に基づき、安全で安定した水道水の供給のため、国庫補助事業を活用した水道施設の耐震化、アセットマネジメントの実施による水道事業の適正な運営等について、水道事業者への支援を行いました。

を有効活用するため、農業水利施設を活用した小水力発電設備の導入を進めました。

#### <主な事業>

小水力発電エネルギー利活用可能性事業  
小水力等再生可能エネルギー導入推進事業

#### イ 農業水利施設の整備

農業用水を安定的に供給するため、農業水利施設を整備したほか、施設の長寿命化を図るため、機能保全計画の策定と機能保全対策工事を実施しました。

#### エ 工業用水

施設の改良・修繕を計画的に実施しながら、良質な水質の工業用水を工業団地に供給しています。

さらに、将来にわたる安定供給の維持が図られるよう、送配水管等の施設の老朽化対策を進めています。

#### <主な事業>

かんがい排水事業  
基幹水利施設ストックマネジメント事業

#### オ 下水熱の活用

下水熱を回収し、盛岡駅西口地区に空調用冷温水を供給する地域熱供給事業を平成7年度から実施し、下水が持つエネルギーの効率的な利用を図っています。

#### ウ 農業用水の活用

農村地域に賦存する再生可能エネルギー

### (2) 地下水及び河川水の適切な利用（農林水産部、県土整備部）

#### ア 河川水の適切な利用

県が所有する農業水利権について、営農状況の変化等に応じた見直しを行いました。

を的確に把握するとともに、河川水の利用について調査・調整を行い、適正な管理及び許認可を実施しました。

#### イ 河川の適切な管理

県が管理する311河川について、ダムや主要河川において流量観測を実施し、河川水量

#### <主な事業>

土地改良事業調査  
河川管理事務

### (3) 節水型の機器・設備の導入促進（環境生活部）

環境学習交流センターの環境企画展において、企業協力のもと節水型シャワーの展示など節水型機器の導入促進について普及啓発を行いました。



環境学習交流センターでの展示の様子

### 3 水の有効利用を推進する施策

- 県の公共施設整備等において水の有効利用を行う設備の率先導入と情報発信を行うとともに、水需給の動向調査を実施するなど、県内への普及啓発や調査等に取り組みました。

#### (1) 公共施設等における雑用水・雨水設備の導入促進と情報発信（環境生活部ほか）

ア 盛岡駅西口の「いわて県民情報交流センター（アイーナ）」において、雨水利用や中水道利用施設等を導入するとともに、ホームページや県民向けの施設見学において紹介するなど普及啓発を行っています。



アイーナ施設見学

イ 二戸地区合同庁舎において雨水貯留施設を設け、トイレの洗浄水として利用するなど率先導入を行っています。



雨水貯留施設（二戸地区合同庁舎）

#### (2) 温泉水、雪及び氷の特性を活かした地域の取組の奨励（環境生活部）

近年では、雪自体の持つ冷熱エネルギーを有効なエネルギー源と捉え活用が進められており、導

入した施設の取組をホームページで紹介するなど、普及啓発を行っています。

#### (3) 水の有効利用に関する技術開発及び調査研究の推進（環境生活部）

県内及び全国の水需給の動向を把握し、将来的な水需給計画の基礎資料とするため、全国水需給動向調

査などを行っています。

### 4 水の価値を再認識するための施策

- 県民・事業者等が実施する活動に対する顕彰として「水と緑を守り育てる活動知事感謝状」を4団体に贈呈したほか、水生生物調査等を通じた親水・水の価値の再認識の取組を推進し、参加者数で全国3位を維持するなど活発な活動が展開されました。

#### (1) 生態系の調査及び保護に関する情報の発信（環境生活部）

ア 県内の116河川179地点において、地域の小学校や環境保全団体の4,543名が「水生生物による水質調査」を実施しています（本県の参加者数は、岐阜県、愛知県に次いで全国

3位）。県でも、振興局の担当者による支援や講師派遣等により実施を支援するとともに、その結果を「水生生物を指標とした岩手県の河川水質マップ」としてまとめ、関係機関や

参加団体等に広く配布し、周知を行っています。

イ 公共用水域・地下水等の水質やダイオキシン類の測定を実施するとともに、結果をホームページや環境報告書上で公表しました。

＜主な事業＞

環境保全対策費（水生生物調査）

水質保全対策費

## (2) 学校及び家庭における水の大切さに関する環境学習の奨励（教育委員会、環境生活部、農林水産部）

### ア 学校における環境教育の推進

学校における環境教育は、関係教科、特別活動や総合的な学習の時間において、それぞれの教科・科目等の目標に即して取り上げられています。

学校ごとに地域の河川等の清掃活動やそれに関わる調査活動等を通して地域の水について学ぶとともに、よりよい環境づくりを目指した実践が行われています。

### イ 環境学習の支援

盛岡駅西口の「いわて県民情報交流センター（アイーナ）」内に設置している「環境学習交流センター」において、地域の自然体験・環境学習等への講師派遣や、環境学習広報車を活用し、地域に出向いて環境学習を行う「出前環境講座」等により、学校・地域における環境学習の取組を支援しています。

また、学校における環境学習の支援を図るため、北東北3県の環境に関する児童向け環境副読本を作成し、県内の小学校5年生全員に配布し、水の大切さや地域の環境調査等を紹介しています。



環境副読本（表紙）

＜主な事業＞

環境学習交流センター管理運営費

環境王国を担う人づくり事業費

### ウ 水生生物調査

小中学校や地域の団体に対し、水生生物調査への参加の呼びかけを行うとともに、出前講座の実施等を行い、水環境への関心を高めるよう支援しました。



水生生物調査

＜主な事業＞

環境保全対策費（水生生物調査）

### エ 農業農村整備事業における生きもの調査

農業農村整備事業の計画・実施区域内において、農家や地域住民の参加による生きもの調査を行い、農業・農村が有する多面的な機能についての理解の促進と普及啓発に努めました。

＜主な事業＞

農業農村整備事業

### オ 水の作文コンクール

中学生を対象に水の作文コンクールを実施し、9校から162作品の応募がありました。このうちから、優秀賞3作品と佳作7作品を表彰しました。また、この優秀賞作品の中から全国の最優秀賞（国土交通大臣賞）が選ばれました。この結果は、文集として関係者へ配付し、県のホームページで公開するとともに、新聞報道等により広く周知されています。

### (3) 県民及び事業者が実施する水環境の保全等の活動に対する顕彰（環境生活部、県土整備部）

#### ア 環境大臣表彰

永年にわたる活動の実績が認められ「平田裕彌（釜石市）」氏が地域環境保全功労者表彰を、「御所湖の清流を守る会（盛岡市）」が地域環境美化功績者表彰を受賞しました。

#### イ 環境保全活動表彰

永年にわたり環境保全活動等に取り組んでいる1団体・4個人に対し知事表彰の贈呈を行いました。

#### ウ 水と緑を守り育てる活動知事感謝状

条例に基づき創設した表彰制度により、4団体に対し知事感謝状を贈呈しました。

#### エ 河川愛護団体等への感謝状贈呈

地域で継続して河川環境の維持保全に貢献している県内の1団体に対し、知事から感謝状の贈呈を行いました。

#### オ 「水生生物による水質調査」実施団体知事感謝状

長年にわたり継続して「水生生物による水質調査」活動を行っている学校に対し感謝状の贈呈を行いました。



水と緑を守り育てる活動知事感謝状贈呈式  
(H25年度表彰者一覧は別添のとおり)

### (4) いわたの水の価値等に関する情報の発信（環境生活部、農林水産部、県土整備部）

ア 昭和60年に岩手県が選定した県内の優れた水環境「いわての名水20選」と平成の名水百選（平成20年度環境省選定）について、各種イベント等でPRしました。

水質保全活動の歴史については、北上川清流化確保対策に関するパネル・パンフレット等により、イベント等を通じて情報発信を行いました。



名水マップ



名水 久慈 不老泉

#### <主な事業>

いわて文化芸術王国構築事業

ウ 溪流でのシャワークライミングや手づかみによる魚とりなど、水辺環境等の地域資源を活用したグリーン・ツーリズムの取組について、周知を図っています。



シャワークライミング（久慈市）

イ ホームページ「いわての文化情報大事典」において、「自然文化」「いわての川と暮らし」として、北上川と馬淵川の流域の歴史、特徴、出来事等を紹介しています。

エ 県内の親水公園や多自然川づくりの事例について、ホームページ上で紹介しています。

## 5 その他の施策

- 事業者等が県民と環境情報を共有するリスクコミュニケーションの取組を進めたほか、様々な機会を活用し情報交換や普及啓発活動に取り組みました。

### (1) リスクコミュニケーションの促進（環境生活部、農林水産部）

ア 地域で事業を実施する企業の環境配慮の取組について、住民・行政と情報を共有する環境コミュニケーションについて、行政が支援を行い、13企業が自主的に環境報告会を開催しています。県も企業向けのセミナーや研修会等を開催し、これらの取組を支援しています。

＜主な事業＞  
化学物質環境対策費（環境コミュニケーション推進費）

イ 県内の河川の流域ごとに行政・事業者・NPO・環境保全団体等からなる流域協議会を設置し、流域ごとの水環境のあり方や、環境保全について定期的に情報交換・協議が行われています。

また、流域協議会が主体となった地域の研修会や報告会などが県内各地で開催されました。

＜主な事業＞  
水と緑の活動促進事業費

ウ 農薬適正使用の研修会開催や農薬管理使用アドバイザーを新規に90名認定（累計1,240名）する等の指導啓発活動を行い、広く農業者や販売業者等の農薬に対する適正使用・管理意識の向上を図りました。

また、畜産業者に対して、家畜排泄物の適切な処理についての巡回指導や処理施設整備の支援を実施しています。

### (2) 県民への普及啓発・環境保全活動の促進（環境生活部、農林水産部、県土整備部、企業局）

ア 森川海事例集のホームページ掲載や各流域の協議会の活動支援をすることにより、県民の環境保全活動への意識向上を図っています。

＜主な事業＞  
水と緑の活動促進事業費

イ 「環境学習交流センター」による講師派遣や出前環境講座、中学生を対象とした水の作文コンクールを開催するなど、環境意識の向上を図っています。

＜主な事業＞  
環境学習交流センター管理運営費  
水利用対策費

ウ 農業に関わる偉人や先人たちの功績や農業・農村の歴史を紹介する「農業農村整備紙芝居」を上演するなど、農地や農業用施設の重要性についての理解促進と普及啓発を図りました。

エ 地域住民や企業等が、農業水利施設の管理者である土地改良区等と施設管理協定（アドプト協定）を締結し、地域が主体となった環境保全活動を実施しました。

＜主な事業＞  
ふるさと水と土保全対策事業

オ ダムや農業用水路など農業水利施設が持つ多面的機能の理解を深めるため、イベント等普及啓発活動を支援しました。

カ 農業・農村が有する多面的機能の維持・増進を図るため、地域協働による農地・農業用水など地域資源の保全活動を支援しました。

＜主な事業＞  
農地・水保全管理事業  
ふるさと水と土保全対策事業

キ 河川や海岸の清掃・美化活動等を行うボランティア団体37団体に対して、物品支給などの支援を実施しました（※海岸は東日本大震災津波の影響により活動無し）。

＜主な事業＞  
いわての川と海岸ボランティア活動等支援制度

ク 花巻市、北上市の広報への掲載をはじめ、油流出事故による河川の汚染を防止するための活動を行いました。



油流出事故防止啓発チラシ

また、植樹を行う市町村や団体に対して苗木を提供するなど、環境保全活動を支援しました。



植樹活動支援事業

<主な事業>  
 油流出事故防止キャンペーン  
 植樹活動支援事業

平成 25 年度「県及び事業者等が実施する水環境の保全等の活動に対する顕彰」表彰者一覧

1 環境保全活動表彰

団体等名(敬称略)	市町村	功 績
【環境保全部門】 大沢農村振興会	洋野町	昭和 58 年に地区全世帯を会員として設立以来、川尻川の清掃活動、ほたるの鑑賞会、久慈平岳の登山会などを通じ、自然景観保全意識の高揚に貢献している。また、平成 18 年には「ふるさとの清流を守り隊」を結成し、自然を守る学習会、食用廃油を活用した石鱈作り、川魚稚魚の放流などを実施し、多くの流域住民及び訪れる町内外の人々の環境保全意識の高揚にも貢献している。
【環境美化部門】 高橋 一夫	盛岡市	平成7年以来長年にわたり、地域及び盛岡市のごみ処理の適正化を図り、地域の生活環境の向上に尽力するなど環境美化活動に寄与し、現在も地域のリーダーとして環境美化活動に取り組んでいる。
【環境美化部門】 関田 元之理	盛岡市	平成8年以来長年にわたり、地域及び盛岡市のごみ処理の適正化を図り、地域の生活環境の向上に尽力するなど環境美化活動に寄与し、現在も地域のリーダーとして環境美化活動に取り組んでいる。
【環境美化部門】 林 國男	盛岡市	平成8年以来長年にわたり、地域及び盛岡市のごみ処理の適正化を図り、地域の生活環境の向上に尽力するなど環境美化活動に寄与し、現在も地域のリーダーとして環境美化活動に取り組んでいる。
【自然保護部門】 遠藤 政一	北上市	平成 17 年度から現在に至るまで、栗駒国立公園の自然公園保護管理員として自然公園の保護及び適正な利用指導に尽力する等多年にわたり自然保護活動に寄与している。

2 水と緑を守り育てる活動知事感謝状

団体等名(敬称略)	市町村	功 績
川を守る会前郷	紫波町	平成 17 年に地域住民の賛同を得て会を結成。鮭の遡上やホタルの飛び交う川を求める子ども達が川と親しめる環境を目指し、紫波町内の太田川及び宮手川のゴミ拾いや草刈りなど地元の中高生とその父兄とも協力し、清掃・環境整備に取り組み、水環境の保全に貢献している。
カタクリの会	西和賀町	平成 2 年から毎月自然観察会を開催。観察会には自然観察指導員も同行し詳細な解説を行うなど充実したプログラムであり、また、地域の環境保全団体の育成にも力をいれるなど地域のリーダー的存在として環境保全意識の醸成に貢献している。
下内野自治会	一関市	平成元年の結成以来、自然豊かな住みよいふるさとづくりに地域一丸となって取り組んでおり、砂鉄川の上流においてカジカの棲める清流にするための石磨き大会や都市部の学生との水環境学習の交流を行うなど、水質保全意識の高揚に貢献している。
鳥海地区振興会	一戸町	平成 6 年の結成以来、地域の河川の清掃活動を実施。花植えや植樹活動も行うなど地域の中核的団体であり、水環境美化及び地域環境保全意識の高揚に貢献している。

3 河川愛護団体等への感謝状

団体等名(敬称略)	市町村	功 績
広瀬川ボランティアの会	奥州市	平成 13 年の設立以来、広瀬川の清掃や、草刈りのほか、河川敷の樹木の伐採や、桜の木の植樹など多彩な活動を展開し、河川環境の美化保全に果たした業績は顕著である。

(裏面に続きます)

#### 4 「水生生物による水質調査」実施団体知事感謝状

団体等名（敬称略）	市町村	功 績
花巻市立湯口小学校	花巻市	長年にわたり継続して本調査に参加し、環境保全意識の高揚に功績がある。
大槌町立大槌小学校	大槌町	長年にわたり継続して本調査に参加し、環境保全意識の高揚に功績がある。
葛巻町立吉ヶ沢小学校	葛巻町	長年にわたり継続して本調査に参加し、環境保全意識の高揚に功績がある。
遠野市立綾織小学校	遠野市	長年にわたり継続して本調査に参加し、環境保全意識の高揚に功績がある。
岩手県立宮古高等学校	宮古市	長年にわたり継続して本調査に参加し、環境保全意識の高揚に功績がある。